

大泉英次教授 略歴・著作目録

略 歴

- 1948（昭和23）年 7 月26日 北海道小樽市に生まれる
北海道留萌市立東光小学校，留萌市立留萌中学校，北海道立留萌高等学校を経て
- 1967（昭和42）年 3 月 北海道立美唄東高等学校を卒業
- 1967（昭和42）年 4 月 北海道大学教養部文類に入学
- 1972（昭和47）年 3 月 北海道大学経済学部経済学科を卒業
- 1972（昭和47）年 4 月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程に入学
- 1974（昭和49）年 3 月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程を修了
- 1974（昭和49）年 4 月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程に入学
- 1977（昭和52）年 3 月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程を単位取得退学
- 1977（昭和52）年 4 月 和歌山大学経済学部講師に採用
- 1979（昭和54）年 4 月 和歌山大学経済学部助教授に昇任
- 1992（平成4）年 3 月 文部省長期在外研究員として英国レディング大学都市・地域学部に留学
(1993 年 1 月まで)
- 1992（平成4）年 4 月 和歌山大学経済学部教授に昇任
- 1993（平成5）年 5 月 博士（経済学）の学位を取得（京都大学 論経博 第147号）
教授昇任後，学部教務委員長，学部入試委員長，経済研究所理事長，
経済学会常任評議員長，経済学科長，副学部長を歴任
- 2004（平成16）年 4 月 和歌山大学きのくに活性化支援センター長（2006 年 4 月まで）
- 2005（平成17）年 4 月 和歌山大学紀南サテライト長（2010 年 6 月まで）
- 2010（平成22）年 7 月 和歌山大学南紀熊野サテライト長（2014 年 3 月まで）
- 2014（平成26）年 3 月 定年により和歌山大学を退職

非常勤講師として出講した大学

日本福祉大学経済学部

立命館大学経済学部

奈良女子大学大学院人間文化研究科

和歌山県立医科大学医学部

和歌山県立医科大学看護短期大学部

和歌山県立医科大学保健看護学部

所属学会

政治経済学・経済史学会

都市住宅学会

Asia-Pacific Network for Housing Research

主な社会貢献活動

和歌山大学消費生活協同組合理事

和歌山県消費生活審議会委員

和歌山県農業農村振興委員会農業及び農村振興に係る第三者部会委員

海南市中心市街地活性化協議会委員

田辺市中心市街地活性化協議会委員

阪南市入札監視委員会委員

阪南市公共料金等適正化審議会委員

和歌山県勤労者学習協会理事

和歌山県地域自治体問題研究所理事

わかやま市民生活協同組合監事

日本住宅会議理事

日本住宅会議関西会議運営委員

和歌山放送「ウイークリー経済」「経済ジャーナル」コメンテーター

著 作 目 録

〔1〕 著書

— 単著 —

『土地と金融の経済学』日本経済評論社, 1991 年 4 月

『不安定と格差の住宅市場論』白桃書房, 2013 年 3 月

— 翻訳著 —

『住宅経済の構造変動』[原著: Michael Ball, Michael Harloe and Maatje Martens, *Housing and Social Change in Europe and the USA*, Routledge, 1988] 晃洋書房, 1994 年 11 月

— 編著 —

『戦後日本の土地問題』ミネルヴァ書房[山田良治氏と共編], 1989 年 5 月

『住宅問題と市場・政策』日本経済評論社[足立基浩氏, 橋本卓爾氏, 山田良治氏と共編], 2000 年 10 月

『空間の社会経済学』日本経済評論社[山田良治氏と共編], 2003 年 7 月

『地域再生への挑戦』日本経済評論社[橋本卓爾氏と共編], 2008 年 4 月

〔2〕 論文／論説

「東ドイツにおける国際通貨危機論」世界経済研究協会『世界経済評論』第 17 巻 12 号, 1973 年 12 月

「独占資本主義とインフレーション」『経済』(新日本出版社) 1974 年 11 月号[筆名: 秋山実], 1974 年 11 月

「1920 年代ドイツ資本主義論への一視角」北海道大学『経済学研究』第 26 巻 1 号, 1976 年 3 月

「ドイツ信用恐慌とブリューニング政策」北海道大学『経済学研究』第 26 巻 3 号, 1976 年 8 月

「安定恐慌とインフレーション」松井安信・三木毅(編)『信用と外国為替』ミネルヴァ書房, 1978 年 3 月

「独占段階の信用制度論に関する一考察」和歌山大学『経済理論』第 164 号, 1978 年 7 月

「資本主義と国民経済(1)」和歌山大学『経済理論』第 174 号, 1980 年 3 月

「資本主義と国民経済(2)」和歌山大学『経済理論』第 177 号, 1980 年 9 月

「資本主義と国民経済(3)」和歌山大学『経済理論』第 182 号, 1981 年 7 月

「ヒルファディングにおける独占価格と物価変動論」金融学会『金融学会報告』(東洋経済新報社) 第 54 号, 1982 年 5 月

「独占形成論／独占価格・独占利潤論」松井安信(編)『金融資本論研究』北海道大学図書刊行会, 1983 年 6 月

「資本の動員・擬制資本」和歌山大学経済学部『現代社会における国家と企業』, 1984 年 3 月

「和歌山県経済と住民生活」歴史教育者協議会『歴史地理教育』第 384 号, 1985 年 7 月

「ヒルファディングの独占論について」信用理論研究会『信用理論研究』第 2 号, 1985 年 7 月

「国家の形態でのブルジョア社会の総括／「不生産的」諸階級」木下悦二・村岡俊三(編)『資本論体系』第 8 巻, 有斐閣, 1985 年 8 月

- 「マルクス「後半体系」における「国家」について」国学院大学経済学会『国学院経済学』第33巻第2・3号、1985年9月
- 「御坊市における産業・階級構造と地域開発政策」和歌山大学経済研究所『地域研究シリーズ』第3号〔中村太和氏と共同執筆〕、1986年2月
- 「マルクス〈後半体系〉の「国家」と「公信用」」和歌山大学『経済理論』第224号、1988年7月
- 「金融資本的蓄積と現代の土地問題」政治経済研究所『政経研究』第58号、1989年5月
- 「土地問題と土地の証券化」和歌山大学『経済理論』第235号、1990年5月
- 「和歌山におけるリゾート開発の現状と問題点」和歌山大学経済研究所『地域研究シリーズ』第6号〔中村太和氏と共同執筆〕、1990年11月
- 「都市開発金融と農地金融に関する覚書」和歌山大学『経済理論』第241号、1991年5月
- 「バブル破綻と金融資本的土地支配」『経済』（新日本出版社）1991年8月号、1991年8月
- 「現代インフレ機構と資本蓄積」政治経済研究所『現代金融問題研究会報告書（上）』、1991年8月
- “On the Urban Development and Housing Problems in the 1980s”, 和歌山大学『経済理論』第248号、1992年7月
- “Property finance in Japan: expansion and collapse of the bubble economy”, *University of Reading, Discussion Papers in Urban & Regional Economics*, No.82, 1992年12月
- “Property finance in Japan: expansion and collapse of the bubble economy”, *Environment and Planning A*, vol. 26, no. 2, London: Pion, 1994年
- 「京都府美山町の農業・土地問題について」龍谷大学社会科学研究所『社会科学研究年報』第25号〔見上崇洋、鈴木龍也、牛尾洋也氏と分担執筆〕、1995年3月
- 「イギリス住宅経済とアフォーダビリティ危機」和歌山大学『経済理論』第265号、1995年5月
- 「住専・不良債権問題と不動産金融」基礎経済科学研究所『経済科学通信』第81号、1996年6月
- 「地域産業の近代化と試験・研究機関」和歌山大学経済研究所『地域研究シリーズ』第12号〔中村太和氏と共同執筆〕、1997年3月
- 「1990年代不況と金融的土地支配の危機」和歌山大学経済学部『世界経済と日本経済の現在』、1997年3月
- 「公共住宅政策の転換」和歌山大学『経済理論』第277号、1997年5月
- 「金融不安と再開発資本主義」和歌山大学経済学部『現代資本主義経済の多様化と経済学の効用』、1998年3月
- 「「金融再生プラン」と都市土地問題」『経済』（新日本出版社）1998年11月号、1998年11月
- 「後藤新平と植民地土地政策」和歌山大学『経済理論』第288号〔林幸三氏と共同執筆〕、1999年3月
- 「グローバル化のなかの日本資本主義と地域・農業」甲斐道太郎・見上崇洋（編）『新農基法と21世紀の農地・農村』法律文化社、2000年3月
- 「住宅・不動産の証券化／リバースモーゲージ」日本住宅会議（編）『2000年版住宅白書』ドメス出版、2000年10月
- 「金融改革と住宅金融改革」日本住宅会議『住宅会議』第51号、2001年2月
- 「住宅市場の成熟化と住宅政策」龍谷大学経営学会『経営学論集』第41巻第2号、2001年8月
- “Housing Provision and Marketization in 1980s and 1990s Japan: A New Stage of the Affordability Problem?”,

- Gary Dymiski and Dorene Isenberg (eds.) *Seeking Shelter on the Pacific Rim: Financial Globalization, Social Change, and the Housing Market*, New York and London: M. E. Sharpe, 2002 年
- 「和歌山県の地域経済と地場産業の動向」平成 12 ～ 13 年度科学研究費補助金（基盤研究）研究成果報告書 [研究代表者：橋本卓爾氏]，2002 年 3 月
- 「住宅金融公庫廃止方針にどう対抗するか」日本住宅会議『住宅会議』第 55 号，2002 年 6 月
- “Restructuring of Japan’s Housing Finance Policy: Should the GHLC be abolished?”，European Network for Housing Research 2002 Vienna Conference Papers, 2002 年 7 月
- 「デフレ時代の住宅市場と住宅金融」日本住宅会議『住宅会議』第 58 号，2003 年 6 月
- 「成熟化社会における医業経営の諸問題」日本臨床内科医師会『日本臨床内科医会会誌』第 18 巻 1 号，2003 年 6 月
- 「住宅ローン破綻」日本住宅会議『住宅白書 2004-2005』ドメス出版，2004 年 6 月
- 「英国のパブリック・フットパス」和歌山地域経済研究機構『地域経済』第 8 号，2004 年 6 月
- 「地域再生と住宅政策の課題」『経済』（新日本出版社）2004 年 8 月号，2004 年 8 月
- 「和歌山の商店街空洞化とまちづくり」新建築家技術者集団『建築とまちづくり』2004 年 9 月号，2004 年 9 月
- 「ストック循環型住宅市場の成立条件」滋賀大学環境総合研究センター『研究年報』第 2 巻第 1 号，2005 年 3 月
- 「和歌山市再生の混迷と希望」矢作弘・小泉秀樹（編）『定常型都市への模索』日本経済評論社，2005 年 7 月
- “Financial Deregulation and the Privatization of Housing Finance Policy in Japan”，和歌山大学『研究年報』第 9 号，2005 年 7 月
- “Japanese Housing Industry in Transition: Competition among Housebuilders in Changing Market Context”，*Asia-Pacific Network for Housing Research 2005 Kobe Conference Papers* [Oi Tatsuo と共同執筆]，2005 年 9 月
- 「住宅金融公庫の廃止—金融の公共性と住宅金融政策」『経済』（新日本出版社）2006 年 3 月号，2006 年 3 月
- 「コモンズと都市の公共性論」鈴木龍也・富野暉一郎（編）『コモンズ論再考』晃洋書房，2006 年 3 月
- 「民活・規制緩和時代の住宅問題と住宅政策／住宅金融政策の転換」塩崎賢明（編）『住宅政策の再生』日本経済評論社，2006 年 4 月
- 「住宅金融の新しい局面」日本住宅会議『住宅会議』第 67 号，2006 年 6 月
- “Transformation in Housing Construction and Finance”，Yosuke Hirayama and Richard Ronald (eds.) *Housing and Social Transition in Japan*, London and New York: Routledge, 2007 年
- “Recent Changes in Housing Markets and Housing Affordability in Japanese Cities”，*Asia-Pacific Network for Housing Research 2007 Seoul Conference Papers* [Oi Tatsuo, Toyofuku Yuji と共同執筆]，2007 年 9 月
- 「ストック性の高い住宅・まちづくりと住宅金融の役割／住宅ローンのリスクと融資差別／住宅金融の証券化」日本住宅会議（編）『住宅白書 2007-2008』ドメス出版，2007 年 6 月
- 「地域特産品の海外市場における販路拡大可能性に関する研究」和歌山大学経済研究所『地域研究シリーズ』第 34 号 [藤田武弘氏と共同執筆]，2008 年 12 月
- 「金融危機と世界・日本・資本主義」『学習の友』（学習の友社）2009 年 1 月号，2009 年 1 月

- 「世界不況と住宅問題の新展開」日本住宅会議『住宅会議』第76号, 2009年6月
- 「アメリカ住宅市場と世界金融危機」和歌山大学『経済理論』第350号, 2009年7月
- 「住宅市場の不安定性と住宅政策」日本建築学会建築社会システム委員会(編)『世界的金融・経済危機と住宅政策の行方』, 2009年8月
- 「住宅ローン破綻問題—その背景・政策課題」日本住宅会議(編)『住宅白書2009-2010』ドメス出版[大井達雄氏と共同執筆], 2009年10月
- 「住宅市場のガバナンス」和歌山大学経済学会『研究年報』第14号, 2010年9月
- 「国家所有論からエネルギー地域自治論へ」和歌山大学『経済理論』第368号, 2012年7月
- “Government/ Public Lending Institutions: Asia-Pacific”, *International Encyclopedia of Housing and Home*, vol. 2, Oxford: Elsevier [Kim Sunsik と共同執筆], 2012年
- 「アベノミクスと住宅市場」日本住宅会議『住宅会議』第89号, 2013年10月
- 「南紀熊野サテライトのこれまでとこれから」『和歌山大学地域連携・生涯学習センター紀要・年報』第12号, 2013年12月

(3) 調査報告書

- 「80年代わかやま—地域の経済と暮らし」和歌山県勤労者学習協会[分担執筆], 1983年12月
- 「和歌山地域産業の市場構造」和歌山地域経済研究機構[分担執筆], 1998年10月
- 「地域産業の元気がし」和歌山県地域・自治体問題研究所[編集・分担執筆], 1998年12月
- 「和歌山市民・近隣地域住民の消費動向と和歌山市小売商業の課題」和歌山地域経済研究機構[分担執筆], 1999年11月
- 「紀南地域の現状と活性化の方向」和歌山大学経済学部[分担執筆], 2000年3月
- 「田辺市梅産業経済構造実態調査報告書」田辺市[分担執筆], 2003年11月
- 「農山村との連携による地方都市再生の条件に関する理論および政策の研究」和歌山大学オンリーワン創成プロジェクト報告書[分担執筆], 2006年12月
- 「田辺広域市町村圏産業振興ビジョン・アクションプラン」田辺広域市町村圏産業振興ビジョン策定委員会[分担執筆], 2007年1月
- 「コンパクトシティと都市づくり」和歌山地域経済研究機構[分担執筆], 2008年10月
- 「ストック循環型住宅市場の構造類型とパフォーマンスの研究」平成18～20年度科学研究費補助金(基盤研究)研究成果報告書[研究代表者], 2009年3月
- 「和歌山市民・近隣地域住民の消費動向と和歌山市小売商業の課題」和歌山地域経済研究機構[分担執筆], 2010年3月
- 「ぶらくり丁活性化・再生研究会報告書」和歌山地域経済研究機構[分担執筆], 2011年3月
- 「ストック循環型住宅市場のパフォーマンスとガバナンスの研究」平成22～24年度科学研究費補助金(基盤研究)研究成果報告書[研究代表者], 2012年6月

(4) 書評

- 「馬場宏二『富裕化と金融資本』ミネルヴァ書房』『唯物史観』(十月社)第31号, 1987年11月

「岩見良太郎『土地資本論』自治体研究社」『経済』（新日本出版社）1990年1月号，1990年1月

「山本孝則『不良資産大国の崩壊と再生』日本経済評論社」和歌山大学『経済理論』第273号，1996年9月

「森杲『アメリカ職人の仕事史』中公新書」『リトルネロ』（和歌山大学）第2号，1997年1月

「建部正義『貨幣・金融論の現代的課題』大月書店」『経済と社会』（時潮社）第13号，1998年5月

「宇沢弘文『社会的共通資本』岩波新書」『リトルネロ』（和歌山大学）第8号，2002年2月

「広原盛明編『開発主義神戸の思想と経営』日本経済評論社」『経済』（新日本出版社）2002年7月号，
2002年7月

「岩見良太郎『「場所」と「場」のまちづくりを歩く』麗澤大学出版会」『経済』（新日本出版社）2004年12月号，
2004年12月

「平山洋介『住宅政策のどこが問題か』光文社新書」日本住宅会議関西会議『あすか』第132号，2009年
8月